

市町村対抗駅伝競走

1月25日、第63回高知縣市町村対抗駅伝競走(安芸郡市体育会主催)が開催され、41チームが参加しました。

天候にも恵まれた今大会は、室戸市から安芸市まで西進する8区間46.5kmで競われました。香美市Aチームが12位(2時間43分41秒)、Bチームが29位(2時間55分47秒)でした。

今大会では永田克久選手が15年連続出場表彰を受けました。



▲表彰状を手にした永田選手(前列右から2人目)

塩の道・油石地区希少植物群

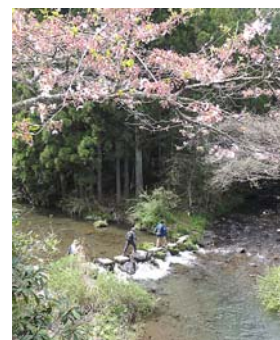
新しく指定文化財に

塩の道(史跡)と油石地区希少植物群(天然記念物)が新たに香美市指定文化財に指定されました。



▲サイコクイカリソウ

塩の道は、物部町から香北町を経て香南市に繋がる古道です。平成16年には『美しい日本の歩きたくなるみち500選』に選ばれました。道中の安全を祈願する馬頭観音や寺跡の井戸など、往時をしのばせるものが随所に見られます。



▲塩の道

油石地区希少植物群の『サイコクイカリソウ』は、メギ科イカリソウ属で、4月に白く小さな花を咲かせます。高知県レッドデータにも載っている希少な植物です。



商姜なかよし饅頭食べて

山田高校生が考案した^{しょうが}商姜なかよし^{まんじゅう}饅頭が、第29回高知県地場産業大賞で次世代賞を受賞し、2月3日、香美市長へ報告に訪れました。

これは山田高校商業科の2年生17人が取り組んだ商品で、製菓会社と協力して作り上げました。これまで高知市のひろめ市場や、東京の県アンテナショップなどに出品してPRや販売を行い、好評を得ていました。

商姜なかよし饅頭は、平成26年度高等学校産業教育生徒研究発表会(高知県教育委員会主催)でも高知工科大学長賞を受賞しており、生徒たちは「全国区のお菓子になれるように育てていきたい」と話していました。



目指せピッタリ!

2月8日、香北青少年センター周辺で、ピッタリ駅伝、ピッタリマラソン、ちびっこマラソンが開催されました。

ピッタリ駅伝、ピッタリマラソンでは、それぞれ参加者自身が設定したタイムを目指し、ちびっこマラソンでは速さが競われました。

結果は次のとおりです。

- 【大会結果】各種目1位**
 ()内は参加数
ピッタリマラソン(10人)
 梶原務(タイム誤差4秒)
ピッタリ駅伝(13チーム)
 香北町青年団(タイム誤差9秒)
ちびっこマラソン
 低学年女子(4人) 高橋真琴
 低学年男子(11人) 橋詰暁伸
 高学年女子(7人) 宗石実珠綺
 高学年男子(20人) 宗石悠希

受章名	本部・分団	階級	氏名
功績章	植	分団長	明石宏昭
	繁藤	"	佐藤栄治
精勤章	永野	分団長	岩崎良一
	繁藤	副分団長	岡部正彦
	岩村	団員	中岡武志
勤続章	五王堂	"	田中栄一
	繁藤	班長	坂本龍一
	"	団員	為田基紀
	明治	"	西村 学
	片地	"	宮本一樹
	"	"	石元 安
	暁霞	班長	大西 守
	美良布	"	武内慶二郎
	"	団員	大和敬明
	"	"	押尾 真
	猪野々	"	森下 研
暁霞	"	吉川晶男	
大栃	"	公文幹夫	

香美市消防表彰(表彰基準日 平成26年12月31日)



消防出初式

▲出初式で消防表彰を受ける団員たち

1月11日、香美市市民グラウンドで約300名の消防団員・関係者が参加し香美市消防出初式が開催されました。

式典では、団員の表彰や機械器具点検、分列行進などが行われ、団員らは防災への決意を新たにしていました。



▲記念講演で熱弁を振るう尾崎知事

1月24日、香美市企業等人権啓発連絡会の組織結成30周年記念大会が開催されました。

当連絡会は、企業等の立場からさまざまな人権問題に対する取り組みを進める団体です。昭和59年、土佐山田町社会同和教育推進協議会『企業等同和教育連絡会』として発足、組織改編を経ながら、平成18年の町村合併に伴い現在の名称になりました。

当日は、楠目隆会長のあいさつ、香美市長の来賓あいさつの後、功績のあった個人や事業所に対し感謝状が贈られました。また、『人口減少の最先端!高知の挑戦』として、尾崎知事が記念講演を行い、現在県が進めている取り組みの事例を交えた熱弁に、来場者はうなずきながら聞き入っていました。

アンパンマンカップ開催

1月10日・11日の両日、県立青少年センター(香南市)を主会場に、香北体育センター・山田高校などの県内16会場で、第16回四国近畿交歓小学生バレーボール大会(アンパンマンカップ)が開催されました。

この大会は、香美スポーツ少年団香北バレーボールクラブと舟入ジュニアバレーボールクラブを中心としたアンパンマンカップ実行委員会(五百蔵隆実行委員長・香北町在住)の主催で毎年開催しており、小学生の大会としては西日本最大の大会です。今回の大会には、四国・中国・近畿地方から207チーム、約2,200人が参加し熱戦を繰り広げました。

選手を代表し、山中優花選手(大宮小6年)が選手宣誓をしました。

